

都産技研地方独立行政法人化 10周年プログラム

都産技研は、平成18年に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、10周年を迎えました。地方独立行政法人化してからこれまで、機動的で柔軟な組織運営、技術革新に迅速に対応する事業運営に取り組むことで、中小企業支援の強化を図ってきました。TIRIクロスミーティングでは、都産技研地方独立行政法人化10周年プログラムとして記念講演や式典を開催します。

6月8日(水)

| | | | | |
|----------|-----|-------------|-----|-------|
| 開 会 式 | 時 間 | 14:45~14:50 | 会 場 | 5階 講堂 |
| 都産技研事業紹介 | 時 間 | 14:50~15:00 | 会 場 | 5階 講堂 |

記念講演

中小企業の競争力は、ビジネスモデルとそれを支える知財マネジメントで決まる ～産業生態系の変容の中で何を検討しなければならないか～



IoT時代の幕開けとともに、製造業やサービス業の区分もないような産業生態系が到来します。その中で勝ち残るには何が必要か？

ビジネスモデルとそれを支える知財マネジメントの重要性について事例等を紹介しつつ、問題提起を行います。

| | | | | | |
|-----|-------------|-----|-------|-----|------|
| 時 間 | 15:00~16:30 | 会 場 | 5階 講堂 | 定 員 | 200名 |
|-----|-------------|-----|-------|-----|------|



(特非)産学連携推進機構 理事長/
一橋大学大学院商学研究科MBA客員教授
妹尾 堅一郎氏

● 経 歴

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム(株)勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産業能率大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学客員教授等を歴任して現職。現在も東京大学や一橋大学で大学院生を指導。CIEC(コンピュータ利用教育学会)前会長。研究・イノベーション学会副会長。日本知財学会理事。
内閣知的財産戦略本部専門調査会前会長、農水省技術会議議員ほか、多くの省庁委員や大手企業役員を兼務。ビジネスモデルと知財マネジメントに関する研究と教育を続ける。著訳書多数。中でもベストセラーになった『技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか』は題名が流行語にもなった。また、実践面では、秋葉原の再開発プロデュース等で著名。平成20年度 産業財産権制度関係功労者表彰 経済産業大臣表彰。

記念講演

メディカロイドが目指す医療ロボットについて



(株)メディカロイドは、本格的な医療用ロボットを世界市場に投入するため、産業用ロボットの技術を保有する川崎重工業(株)と医療分野の検査・診断の技術を持つシスメックス(株)の合併会社として2013年に設立されました。現在、販売に向け取り組んでいる製品開発についてご紹介します。

| | | | | | |
|-----|-------------|-----|-----------|-----|------|
| 時 間 | 15:00~16:30 | 会 場 | 5階 会議室531 | 定 員 | 100名 |
|-----|-------------|-----|-----------|-----|------|



(株)メディカロイド 常務取締役/
川崎重工業(株)精密機械カンパニー
ロボットビジネスセンター 医療ロボット部門担当理事
田中 博文氏

● 経 歴

1982年川崎重工業(株)入社。ロボットシステム設計やマニピュレータ機械設計、ロボットシステム開発等に従事する。96年~2003年までKawasaki Robotics UK Ltd. 出向 英国駐在。ロボットエンジニアリング部、ロボット技術企画部等を経て、2013年より(株)メディカロイド勤務、2015年~医療ロボット部門担当。IFR(International Federation of Robotics: 国際ロボット連盟)理事を歴任する。

10周年記念式典

時 間 16:45~17:00

会 場 5階 講堂

申込不要

理事長挨拶 理事長 奥村 次徳、来賓祝辞、地方独立行政法人化10年の歩み

10周年記念交流会

時 間 17:00~18:00

会 場 5階 食堂

申込不要

連携協定機関や都産技研の役職員、参加者同士で交流を深めていただく交流会を開催します。

事前予約制のプログラムについては、予約されていないお客さまもお席に余裕のある場合は、ご参加いただけます。参加をご希望の場合は、お近くの係員にお尋ねください。

特別プログラム

6月9日(木)

特別講演 ロボット

ロボットと未来社会

パーソナルコンピュータとスマートフォンに続いて、新たな情報メディアとなるのが、パーソナルロボットです。このロボットは、パーソナルコンピュータが情報化社会をもたらしたのと同様にロボット化社会をもたらす可能性があります。本講演では講演者のこれまでの研究を紹介しながら、ロボット化社会の可能性と、その社会において我々人間が学ぶことを議論します。

時間 10:00~10:50 会場 5階 講堂 定員 200名



● 経歴

大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授(特別教授)・ATR石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー)、工学博士。社会で活動できる知的システムを持ったロボットの実現を目指し、これまでにヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミノイドなど多数のロボットを開発。2011年大阪文化賞(大阪府・大阪市)受賞。2015年文部科学大臣表彰受賞およびシエイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム知識賞受賞。最先端のロボット研究者として世界的に注目されている。

大阪大学教授/
ATR石黒浩特別研究所 客員所長(ATRフェロー) 石黒 浩氏



6月10日(金)

特別講演 先端ものづくり

自動車用CFRP部品の量産技術

高い剛性を持ちながら軽量、金属ではできないデザインが可能、衝撃エネルギー吸収性が高いなどのメリットを持つCFRP。自動車の外板や構造部材として広く利用されている一方、成形に時間がかかり、生産性が低いという課題があります。この課題をクリアし、自動車業界の拡大ニーズに対応した量産技術についてご紹介します。

時間 10:00~10:50 会場 5階 講堂 定員 200名



● 経歴

広島大学大学院工学研究科移動現象工学専攻修了(化学工学修士)。1981年NTN東洋ベアリング(株)入社、総合技術研究所研究員。1990年三菱レイヨン(株)入社。以来、同 樹脂開発研究所副主任研究員、中央技術研究所エンジニアリング開発センター主任研究員、生産技術センター技術開発2グループグループリーダー、複合材料開発センター主席研究員、同AN技術統括室担当部長を歴任。2010年同 炭素繊維・複合材料技術統括室担当部長。2016年4月より、同嘱託。

三菱レイヨン(株)
炭素繊維・複合材料技術統括室 小川 繁樹氏



特別講演 海外展開支援

中小企業の「生産拠点を持たない海外展開」戦略

本講演では、技術供与や生産委託といった「生産拠点を持たない海外展開」戦略について、具体的事例を紹介しながら、その有効性と課題、留意点についてお話しします。

時間 13:10~14:00 会場 5階 講堂 定員 200名



● 経歴

東北大学経済学部を卒業し、中小企業金融公庫(現(株)日本政策金融公庫)に入庫。2007年に早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻修士課程修了。MBA。2016年埼玉大学大学院経済科学研究科修了 博士(経済学)。中小企業診断士。専門は中小企業の海外展開・イノベーション・自動車産業等。2014年より、桜美林大学ビジネスマネジメント学群 兼任講師。

(株)日本政策金融公庫
総合研究所 主席研究員 丹下 英明氏



特別講演 先端ものづくり

世界市場を目指した国際標準化戦略 ~金属とプラスチックの接合技術「ナノモルディング技術」~

極めて高い接合強度を得ることができるナノモルディング技術は締結部品を使わない軽量な接合方法として自動車部品などへの応用が期待されています。既存規格で証明できなかったため、大企業と連携。経済産業省のバックアップを受けながら、各国より承認されISO規格として発行されました。これを武器に、航空機や自動車など世界的に市場開拓を進める戦略についてお話しします。

時間 13:10~14:00 会場 5階 講堂 定員 200名



● 経歴

1971年千葉商科大学経済学部卒業。双福化学(株)入社。1976年 和光プラスチック(株)入社。1982年 大成プラス(株)創業。国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(nano tech 2004)ナノテック大賞、日刊工業新聞社モノづくり日本会議(2011年)超モノづくり部品大賞自動車部品賞、プラスチック成形加工学会(2013年)「青木固 技術賞受賞。

大成プラス(株) 会長 成富 正徳氏



MTEPセミナー

海外の医療機器規制の概要

時間 14:15~15:00 会場 5階 講堂 定員 200名



忍足専門相談員が海外の医療機器規制について、実例を交えながらご紹介します。

広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)
専門相談員 忍足 光史



MTEP相談会 時間 10:00~10:50, 11:00~11:50

忍足専門相談員が各国薬事法規制や医療機器の機能安全に関するご相談をお受けします。



特別講演 生活技術・ヘルスケア

モノづくりへの人間工学・感性工学の活用

最近では商品に対する消費者の価値観が多様化し、モノづくりの現場においても、いかにしてユーザーのニーズをきちんと捉えることができるか?が非常に重要となってきています。商品企画や開発に役立つ、顧客視点でのユーザーニーズの調査、ユーザビリティを科学的に追究するアプローチ、ユーザー実感の定量化について、お話しします。

時間 13:10~14:00 会場 2階 研修室243 定員 50名



● 経歴

1992年松下電工(現パナソニック(株))入社後、理美容関係の商品に関する研究開発、商品開発に携わる。社内関係部署を経て、現職にて人間工学、官能評価、生理評価を応用した商品評価および評価技術開発を担当。日本人間工学会認定の人間工学専門家 資格を保有。

パナソニック(株)プロダクト解析センター
ユーザビリティソリューション部 係長 立田 美佳氏



6月9日・10日 両日開催

成果展示

申込不要

コアタイム:16:30~17:30 成果発表の内容をまとめたパネルや試作品を展示します。コアタイムには、発表者も会場におられますので、お気軽にご質問ください。
場所:東京イノベーションハブ(中2階)

技術相談コーナー

申込不要

時間:16:30~17:30 製品開発においてお困りのことや研究成果発表をお聞きになり、疑問に思われたこと、都産技研のご利用に関するなどを質問いただける「技術相談コーナー」を設置します。
場所:東京イノベーションハブ(中2階)

6月9日(木) プログラム

| | 5階 講堂 | 5階 会議室531 | 2階 研修室241 |
|--------------|---|---|--|
| 10:00~10:50 | 10:00~10:50 特別講演 ロボット ロボットと未来社会 大阪大学/ATR石黒浩特別研究所 石黒 浩氏 | | |
| 10:50~11:05 | 最新試作ロボットの紹介 ロボット開発セクター 坂下 和広 | | |
| 11:05~11:10 | 移動・休憩(5分) | | |
| 11:10~11:15* | | ロボット産業活性化事業 | 環境・エネルギー ① |
| 11:15~11:30 | | 自動停止機能を有する電動車椅子の研究開発 WHILL(株) 白井 一充 | 亜鉛めっき排水処理の課題と対策 一亜鉛の排水暫定基準終了を前に一 環境技術グループ 小坂 幸夫 |
| 11:30~11:45 | | T型ロボットベースの高機能化 (株)システムクラフト 曾我部 正躬 | |
| 11:45~12:00 | | 震災時の要救助者探索用 レスキューロボットの開発 明星大学 山崎 芳昭 | 亜鉛めっき用 クロムフリー耐食性化成皮膜の開発 表面・化学技術グループ 浦崎 香織里 |
| 12:00~12:15 | | ロボットとロボット様玩具の違いとそれらの 有効活用のために 首都大学東京 井上 薫 | はんだ不濡れの 発生するAuパッド表面の解析 信頼性安全技術研究会 河合 俊 |
| 12:15~13:10 | | 昼食休憩(55分) | |
| 13:10~14:00 | 13:10~14:00 特別講演 海外展開支援 中小企業の 「生産拠点を持たない海外展開」戦略 (株)日本政策金融公庫 丹下 英明氏 | 13:10~14:10 ロボット産業活性化事業 平成28年度公募型共同研究開発事業 ロボット企画グループ 高橋 千秋 | |
| 14:00~14:15 | 都産技研の事業説明 | | |
| | 休憩(5分) | 休憩(5分) | |
| 14:15~14:30 | 14:15~15:00 MTEPセミナー 海外の医療機器規制の概要 | 在宅見守りロボットの研究開発 (株)VRテクノセンター 横山 考弘 | 環境・エネルギー ② |
| 14:30~14:45 | 広域首都圏輸出品技術支援センター(MTEP) 忍足 光史 | T型ロボットベースの開発と応用事例 ロボット開発セクター 小林 祐介 | 酵素分解イオン液体法によるセルロース抽出の 高効率化 環境技術グループ 濱野 智子 |
| 14:45~15:00 | | 人追従型運搬ロボットの安全性強化と開発 ロボット開発セクター 益田 俊樹 | 促進酸化法による 綿布不純物分解プロセスの開発 複合素材開発セクター 榎本 一郎 |
| 15:00~15:15 | | 案内サービスロボットの安全認証取得への 取り組み ロボット開発セクター 森田 裕介 | 赤外線ヒータの 変角放射強度測定による全放射束評価 光子技術グループ 磯田 和貴 |
| 15:15~15:30 | | USBを用いた機械制御システムのための 安全技術 ロボット開発セクター 村上 真之 | 微細流路を用いた次世代型熱交換器の開発 ~可視化実験に基づく整理式の作成~ 電気通信大学 榎木 光治 |
| 15:30~15:45 | | ロボット用自律移動ソフトウェアの開発 ロボット開発セクター 佐々木 智典 | LSPRガスセンサにおける 吸脱着ヒステリシスの改善 開発企画室 加沢 エリト |
| 15:45~16:00 | | 先端型案内ロボット向けヒト追跡 ソフトウェアの開発 ロボット開発セクター 中村 佳雅 | バナナ繊維のセシウムイオンおよび ストロンチウムイオン捕集能 城南支所 梶山 哲人 |
| 16:00~16:15 | | 多言語対話のための音声処理 ソフトウェアの開発 ロボット開発セクター 武田 有志 | 異物分析における菌類の確認方法 表面・化学技術グループ 木下 健司 |
| 16:15~16:30 | | 実証実験に基づいた受付ロボットの サービス検討と改善 ロボット開発セクター 松本 正雄 | |

見学会・成果展示・技術相談コーナー

| | 2階 研修室242 | 2階 研修室243 | 2階 研修室244 |
|--------------|---|--|---|
| 10:00~10:50 | | | |
| 10:50~11:05 | | | |
| 11:05~11:10 | | 移動・休憩(5分) | |
| 11:10~11:15* | 機能性材料① | 3Dものづくり支援 | 機能性材料② |
| 11:15~11:30 | ITO代替材料としての二酸化チタン系透明導電膜の開発 先端材料開発セクター 小川 大輔 | 粉末焼結型AM技術における3Dデータ補正による寸法精度向上 3Dものづくりセクター 小林 隆一 | 摩擦攪拌点接合(FSSW)による工具鋼とチタンとの異材接合性 機械技術グループ 青沼 昌幸 |
| 11:30~11:45 | 導電性ダイヤモンド合成技術の開発 表面・化学技術グループ 長坂 浩志 | 金属粉末AMにおける形状条件データベースの構築 3Dものづくりセクター 藤巻 研吾 | 重ね摩擦攪拌接合の効率化を目的とした接合ツールの検討 機械技術グループ 青沼 昌幸 |
| 11:45~12:00 | 新しい金属カルコゲナイド超伝導体・熱電変換材料の開発と物性研究 首都大学東京 水口 佳一 | 高精度X線CT装置の運用事例 バイオ応用技術グループ 紋川 亮 | 高速度工具鋼粉末によるレーザー粉体内盛層の機械的性質 神奈川県産業技術センター 高橋 和仁 |
| 12:00~12:15 | 単層カーボンナノチューブの熱電特性の制御とその応用 首都大学東京 柳 和宏 | 3次元画像からの空隙率測定方法の開発 生活技術開発セクター 大平 倫宏 | 低温プラズマ窒化処理の開発 機械技術グループ 中村 勲 |
| 12:15~12:30 | | X線CT装置を用いた寸法測定評価 城南支所 竹澤 勉 | |
| 12:30~13:10 | 昼食休憩(55分) | | 昼食休憩(55分) |
| 13:10~14:25 | | | |
| 14:25~14:30* | 機能性材料③ | 安全・安心① | 安全・安心② |
| 14:30~14:45 | 直流パルスGD-MSによる薄板試料中の微量成分の直接分析 城南支所 山田 健太郎 | オンサイト型ナノインデント用XYステージの開発 埼玉県産業技術総合センター 荻野 重人 | サポートベクターマシンによる多次元非線形センサの出力推定 情報技術グループ 村上 知里 |
| 14:45~15:00 | 機能性炭素材料の分析法の検討 神奈川県産業技術センター 城田 はまな | AiIT PBL「偏光イメージングのための多角的撮像システムの開発と応用研究」 産業技術大学院大学 村越 英樹 | チャトル表現によるWebシステム動作系列の記述 情報技術グループ 阿部 真也 |
| 15:00~15:15 | 静電植毛加工技術 城東支所 長谷川 孝 | コンクリート構造物の長寿命化に資する弾性波法による内部可視化技術 首都大学東京 大野 健太郎 | 情報ネットワークのセキュリティ向上対策 東京電機大学 宮保 憲治 |
| 15:15~15:30 | パルス光焼成技術とナノカーボン・複合材料への応用 産業技術総合研究所 島田 悟 | ガラスの破損事故解析の事例紹介 環境技術グループ 宮宅 ゆみ子 | 大面積機能性表面の創生～濡れ性・光学機能制御技術～ 産業技術総合研究所 栗原 一真 |
| 15:30~15:45 | 軽量金属材料の高機能化・多機能化 芝浦工業大学 芹澤 愛 | 耐候性試験の基礎と活用法 先端材料開発セクター 小林 宏輝 | バイオハザード検出センサ～安全・安心な社会を実現するために～ 産業技術総合研究所 鶴沢 浩隆 |
| 15:45~16:00 | 巻線応力がリング試料の直流磁気特性に及ぼす影響 神奈川県産業技術センター 馬場 康壽 | X線照射装置の特性と照射利用 バイオ応用技術グループ 関口 正之 | POCT用の水晶振動子式バイオセンサ 産業技術総合研究所 黒澤 茂 |
| 16:00~16:15 | 摺動部品の摩擦特性向上のためのDLC膜の低摩擦化技術 城東支所 徳田 祐樹 | SAWフィルタを用いたゲート駆動回路 首都大学東京 五箇 繁善 | MASを用いた津波災害時の避難シミュレーションの一例 首都大学東京 岸 祐介 |
| 16:15~16:30 | | | |

*午前・午後のセッション開始前に、座長が5分間の分野説明をします。

6月10日(金) プログラム

| | 5階 講堂 | 2階 研修室241 | 2階 研修室242 |
|--------------|---|--|--|
| 10:00~10:50 | 10:00~10:50 特別講演 先端ものづくり 自動車用CFRP部品の量産技術 三菱レイヨン(株) 小川 繁樹氏 | | |
| 10:50~11:00 | 都産技研の事業説明 | | |
| 11:00~11:10 | | 休憩・移動時間(10分) | |
| 11:10~11:15* | | 品質向上 | 先端ものづくり ① |
| 11:15~11:30 | | 現場環境における三次元測定機の寸法違いを用いた温度補正の評価 電子・機械グループ 大西 徹 | 段差乗り越えを容易にする偏心車軸を特徴とした車輪機構の開発 電子・機械グループ 西川 康博 |
| 11:30~11:45 | | φ0.1mm極細シース熱電対の開発 実証試験セクター 沼尻 治彦 | 圧電セラミックスによるセルフセンシングアクチュエータを用いた振動制御 機械技術グループ 福田 良司 |
| 11:45~12:00 | | 自動測定による炉の温度分布評価 実証試験セクター 倉持 幸佑 | 超音波疲労試験機を用いたねじ締結体のギガサイクル軸力負荷試験法 城東支所 櫻庭 健一郎 |
| 12:00~12:15 | | 熱電対の不均質測定と評価 実証試験セクター 佐々木 正史 | ポラスディスクを用いた被動機の開発 機械技術グループ 小西 毅 |
| 12:15~12:30 | | | ダイヤモンドコーティング工具の開発 城南支所 平野 康之 |
| 12:30~13:10 | | 昼食休憩(55分) | |
| 13:10~14:00 | 13:10~14:00 特別講演 先端ものづくり 世界市場を目指した国際標準化戦略 ~金属とプラスチックの接合技術 「ナノモルディング技術」~ 大成プラス(株) 成富 正徳氏 | | |
| 14:00~14:10 | 都産技研の事業説明 | | |
| 14:10~14:25 | | | |
| 14:25~14:30* | | スポーツ義足 | 生活技術・ヘルスケア ① |
| 14:30~14:45 | | 積層造形による機能的美しさのデザイン: SLSを用いた走行用義足の試作開発 東京大学 佐藤 翔一 | 物理的環境を再現した培養細胞血管モデルの構築 首都大学東京 坂元 尚哉 |
| 14:45~15:00 | | | 心筋梗塞の予防・治療に役立つ悪玉LDL自動測定装置の開発 埼玉県立大学 久保田 亮 |
| 15:00~15:15 | | Additive Manufacturing(AM)と関連技術による走行用スポーツ義足の設計 城東支所 木暮 尊志 | ESRを利用した分析技術 バイオ応用技術グループ 中川 清子 |
| 15:15~15:30 | | スポーツ用義足の研究開発とアスリート支援 産業技術総合研究所 保原 浩明 | 医用X線に対する遮へい性能測定と規格化の現状 バイオ応用技術グループ 河原 大吾 |
| 15:30~15:45 | | | 高齢者の音声聴取改善に適したスピーカシステムの開発 光音技術グループ 服部 遊 |
| 15:45~16:00 | | スポーツ用義足の力学的特性評価法の検討 電子・機械グループ 西川 康博 | AIIT PBL「訪問看護ステーション支援事業の分析とBPR提案」 産業技術大学院大学 戸沢 義夫 |
| 16:00~16:15 | | 2020年に向けた東京都のスポーツ推進施策について 東京オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課 | 産総研における人間中心設計に根差した健康・医療支援への取り組み★ 産業技術総合研究所 梅村 浩之 |
| 16:15~16:30 | | | |

| | 2階 研修室243 | 2階 研修室244 | 2階 会議室233 |
|--------------|--|---|---|
| 10:00~10:50 | | | |
| 10:50~11:00 | | | |
| 11:00~11:10 | | 休憩・移動時間(10分) | |
| 11:10~11:15* | 生活技術・ヘルスケア ② | 安全・安心 ③ | 先端ものづくり ② |
| 11:15~11:30 | 筋電と加速度を用いた動作識別の検討★ 経営情報室 志水 匠 | セラミックスを用いた ガス電子増幅器用電極の開発 電気電子技術グループ 小宮 一毅 | シリカを用いた新規造形材料の開発 生活技術開発セクター 飛澤 泰樹 |
| 11:30~11:45 | デジタル水晶玉: 高齢者の生活のデータベース・分析・デザイン支援 産業技術総合研究所 北村 光司 | 近傍界測定におけるノイズ源識別 モジュールの開発 電子・機械グループ 佐野 宏晴 | バイオマス混練プラスチックの 射出成形条件の最適化 千葉県産業支援技術研究所 朝稲 香太郎 |
| 11:45~12:00 | 天然繊維の有機導電加工と活用 生活技術開発セクター 添田 心 | 配線用遮断器およびヒューズの 直列接続によるSPD分離器構成方法の検討 電気電子技術グループ 黒澤 大樹 | 麻繊維強化植物由来 ポリアミド複合材料の成形加工と機械的性質 経営企画室 山中 寿行 |
| 12:00~12:15 | | | 高強度繊維不織布を用いた防護材料の開発 複合素材開発セクター 榎本 一郎 |
| 12:15~13:10 | | 昼食休憩(55分) | |
| 13:10~14:00 | 13:10~14:00 特別講演 生活技術・ヘルスケア モノづくりへの人間工学・感性工学の活用 パナソニック(株) 立田 美佳氏 | | |
| 14:00~14:15 | 都産技研の人間生活工学分野への取り組み 生活技術開発セクター 島田 茂伸 | | |
| 14:15~14:25 | 休憩(10分) | | |
| 14:25~14:30* | 生活技術・ヘルスケア ③ | 環境・エネルギー ③ | 機能性材料 ④ |
| 14:30~14:45 | 北海道立総合研究機構工業試験場における 人間生活工学分野の取り組み 北海道立総合研究機構 吉成 哲 | UPS用LiB蓄電池電源 (株)EVTD研究所 小池 哲夫 | セラミックス製品における残存有機物分析 表面・化学技術グループ 樋口 智寛 |
| 14:45~15:00 | 長野県工業技術総合センターにおける 人間生活工学の取り組み 長野県工業技術総合センター 河部 繁 | パーヒドロポリシラザンで形成されるSiO ₂ の 太陽電池応用 国立東京工業高等専門学校 永吉 浩 | 有機物と無機系量子ドットの複合化検討 先端材料開発セクター 染川 正一 |
| 15:00~15:15 | 富山県工業技術センターにおける 人間生活工学分野への取り組み 富山県工業技術センター 九曜 英雄 | 7員環を有するフラーレン誘導体の合成と 有機薄膜太陽電池への応用 先端材料開発セクター 小汲 佳祐 | LDLマーカの粒子径制御と評価に関する検討 先端材料開発セクター 柳 捷凡 |
| 15:15~15:30 | 人間工学に配慮した使い易い 食器棚の設計指針の提案 福岡県工業技術センター 石川 弘之 | 既成市街地へ導入可能な新たな熱融通システムの 有効性に関する研究~双方向熱融通・スマートヒートグリッド 芝浦工業大学 永井 猛 | 触媒の摩擦によるエチレン酸化反応の促進 千葉工業大学 平塚 健一 |
| 15:30~15:45 | 岩手県工業技術センターにおける 人間生活工学に関連する取組事例の紹介 岩手県工業技術センター 茨島 明 | 地中熱ヒートポンプを活用した局所温度管理技術の開発 東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 岡澤 立夫 | 低エネルギー光照射によるナノ粒子の凝集制御 先端材料開発セクター 海老澤 瑞枝 |
| 15:45~16:00 | 大阪府立産技研における感覚計測技術の取り組み 大阪府立産業技術総合研究所 山本 貴則 | 金属織物を用いた固体酸化物形 燃料電池用集電材の開発 複合素材開発セクター 窪寺 健吾 | 金属ナノ粒子の光学シミュレーション 情報技術グループ 山口 隆志 |
| 16:00~16:15 | 衣服圧測定手法の応用による背負い圧測定の検討 生活技術開発セクター 菅谷 紘子 | 白金代替燃料電池触媒の開発 埼玉県産業技術総合センター 榎本 将史 | 金ナノ粒子担持触媒の基礎および実用化研究 ~造粒と触媒活性~ 首都大学東京 村山 徹 |
| 16:15~16:30 | 生活環境におけるにおい評価 生活技術開発セクター 佐々木 直里 | ガスハイドレート技術による物質分離 創イノベーション(株) 最上 要 | |

※午前・午後のセッション開始前に、座長が5分間の分野説明をします。

★発表時間・会場が変更となりました。

見学会 6月9日(木)・10日(金) 16:45~17:15

都産技研の各グループ・セクターの設備や施設をご覧いただきながら、職員が研究や取り組み内容をご紹介する見学会を開催します。東京ロボット産業支援プラザ・3Dものづくりセクター*以外は、事前予約の必要はありませんので、受付にてお申し込みください。
*定員に達していない場合は、事前予約制の見学会もご参加いただけますので、受付でご確認ください。

東京ロボット産業支援プラザ

事前
予約制



ロボットの開発から安全評価までを支援します。2016年4月20日に全面オープン。

見学内容:東京ロボット産業支援プラザ

3Dものづくりセクター

事前
予約制



3Dものづくりに関する設計・試作・評価について総合的な技術支援を行っています。

見学内容:金属AM
樹脂AM
幾何形状測定室

先端材料開発セクター

当日受付



微粒子や薄膜などの先端材料に関する技術開発および支援を行っています。

見学内容:X線分析室
透過電子顕微鏡室
核磁気共鳴試験室

実証試験セクター

当日受付



製品の信頼性評価、故障解析、動作解析や環境試験等により、高品質・高性能な製品開発支援を行っています。

見学内容:製品強度実験室
環境試験室

電気電子技術グループ

当日受付



EMCやMEMSに関する技術支援や電気機器等の特性試験や環境試験、高電圧試験に関する技術支援を行っています。

見学内容:雷インパルス発生装置
電波暗室

機械技術グループ

当日受付



機械部品等の振動試験や制御、塑性加工などの金属加工、熱処理や溶接などの熱エネルギー加工に関する技術支援を行っています。

見学内容:レーザー溶接機
摩擦攪拌接合(FSW)装置
成形性試験機
振動試験機

光音技術グループ

当日受付



照明製品の測光・測色、材料の光学特性計測など光に関する技術支援および音響特性を測定する設備を活用した音に関する技術支援を行っています。

見学内容:無響室
積分球
配光装置
外線実験室

表面・化学技術グループ

当日受付



表面改質やめっき、塗装などの表面処理に関する技術支援や有機・高分子材料の分析・評価に関する技術支援を行っています。

見学内容:成膜装置
射出成形機

環境技術グループ

当日受付



有害物質等の分析・評価や糸状菌(カビ)などの微生物およびVOCに関する技術支援、ガラス・セラミックスに関する技術支援を行っています。

見学内容:蛍光X線分析装置
ガラス実験室
家具試験機

バイオ応用技術グループ

当日受付

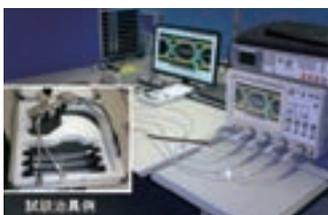


生体材料技術を利用した医療機器開発、バイオセンシング技術による診断検査機器開発、放射線技術を応用した計測や非破壊検査などの技術支援を行っています。

見学内容:X線CT
放射線非破壊検査室

情報技術グループ

当日受付



IT・電子機器の設計開発において、アイデアの段階から製品化にいたるまでの各段階に応じた相談、試験などの技術支援を行っています。

見学内容:高性能オシロスコープ

デザイン技術グループ

当日受付



販売促進につながる商品企画やデザインに関する開発・技術支援を行っています。

見学内容:創作実験ギャラリー
デザイン出力室